

## 地域に視点をあてた事業展開 [高年]

# 地域のイベント「まきのDE盆踊り」の継承

人材、開催場所の問題で存続できなくなった地元牧野地区のイベント「まきのDE盆踊り」を、当法人が主催することで継続している。子どもからお年寄りまで世代を超えた住民の交流の場として地域に根付いていたイベントを存続させたことで、地域住民からの当施設への信頼を獲得し、施設と地域の融合の機会をつなぐことができた。

奈良県

社会福祉法人 **正和会**

〒637-0077 奈良県五條市大沢町5-25

TEL：0747-24-4455 FAX：0747-23-6226

### ◇法人設立年

平成5年

### ◇法人実施事業

- ①経営施設（事業）数：3施設10事業
- ②経営施設・事業の種類：  
特別養護老人ホーム…1、介護老人保健施設…  
1、ケアハウス…1、訪問介護…1、通所介護  
事業…1、通所リハビリテーション…1、認知  
症対応型通所介護…1、認知症対応型共同生活  
介護…1、居宅介護支援事業所…2

### ◇法人の理念・経営方針

#### 〈法人理念〉

われわれ正和会は地域における最高の福祉の充実を目指し日々精進することを旨とする

#### 〈法人方針〉

われわれ正和会は単なるサービス業として受け止めるのではなく福祉という崇高な理念に基づき情報も含むあらゆるサービスの提供改善に努めます

### ◇取り組みを実施している施設の概要

#### 【施設名】

まきの苑

#### 【施設種別及び利用定員】

特別養護老人ホーム 204名

### ◇活動内容

- 活動開始年  
平成16年
- 活動の対象者  
地域にお住まいの幼児から高齢者までの住民
- 活動の頻度・時間  
毎年8月4時間程度

### ◇活動実施の背景、実施にいたった理由

子どもたちの健全育成と地域行事の復活振興を目的にした夏祭り「まきのDE盆踊り」は、平成9年より毎年地元の有志が協力して開催していた。当法人も当初よりかき氷販売の屋台を出して参加し、参加希望の利用者をマイクロバスで送迎して盆踊りを楽しんでもらっていた。会場は小学校の運動場を借り、会場の設営、屋台の設置販売など、自治会の後援はあったものの、数名の有志ですべて担っていた。

参加者は増加するが実行委員は少なく、また駐車場の問題等で会場の確保が難しくなり、平成16年になって開催が危ぶまれる状況になった。地元に着着していた行事であり、各方面から継続を希望する声が上がった。協議の結果、当施設の駐車場を会場とし、職員が地元有志と共に運営することで存続することとなった。その後、施設の夏祭りと合体させて、「まきのDE盆踊り」は当法人の事業としても位置付け、地元住民有志、ボランティアの応援をいただき毎年開催している。

### ◇実施内容

地区からたこ焼き、お好み焼き、かき氷など8店が、法人からは焼きそば、ジュースの2店が屋台を出している。17時半の屋台販売開始時にはすでに行列ができていた店もあり、毎年大盛況である。18時になり、地元保育所の園児による盆踊りが開始される。浴衣姿のかわいい踊りに付き添いの保護者はビデオや写真撮影に忙しく走り回り、いつ見てもほほえましい光景である。その後は、まほろば太鼓団によるパワフルな和太鼓の演奏が行われる。

19時になり、本場の音頭取りさんの「河内音頭」が始まり、いよいよ全員参加の盆踊りが開始される。前もって踊りの練習をしている職員は、揃いの法被で参加する。車いすでの参加者や地域の踊り隊、近隣から踊りに駆け付けてくれる揃い浴衣のグループもあり、踊りの輪は非常ににぎやかである。時折、「江州音頭」も織り交ぜながら2時間、21時の終了まで踊りの輪は続く。施設の中には会場とは別の屋台があり、屋外に出られない方はフロアでご家族と共に夏祭りを楽しまれる。

## ◇活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

地元で根付いたイベントを存続させることが目的であったので、当初は会場と労力を提供し、企画・運営は地元有志が行うままでと考えていた。しかし、後継者不足、資金不足などの問題で途中から当法人主催の形で引き継ぐこととなった。一法人の行事に片寄らならないように、地域の方が気軽に参加できる「地域の祭り」でなくてはならないという点にこだわってきた。結果、会場設営、音響、屋台等、多方面で地域の方からの応援をいただき、かかわっていただくことで地域色を保ちながら、施設と地域が融合したイベントになってきている。



## ◇今後の展開

地域住民と利用者家族の双方が満足していただけるように施設の中と外で同時に行う「夏祭り」は、職員にとっては大きな負担であるが、このような大きなイベントを開催できることに法人も職員も誇りに感じている。地域貢献は法人が掲げる方針であることから、地域の方がイベントを通じて施設を身近な存在に感じていただけることは、非常に嬉しいことである。地域のお祭りとして子どもからお年寄りまで世代を超えて楽しんでいただける「まきのDE盆踊り」を、今後も継続していきたいと考えている



## ◇主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
出演料	250,000円	法人負担	430,315円
屋台材料	112,792円		
消耗品費	65,323円		
<合計>	430,315円	<合計>	430,315円

・取り組みにかかわった職員数 5名

※実行委員として

(職種等：実行委員…管理者、総務部、事務員、看介護職、その他の職種 ※実行委員以外の正職員全員も何らかの形でかかわっている)